

パブリック・コメント手続実施結果概要

1 実施目的

城陽市では、平成29年3月に策定した「城陽市自殺対策計画」を改定し、「第2期城陽市自殺対策計画」の策定を進めている。

計画を策定するにあたり、広く市民等の声を反映させるため、原案についての意見を募集した。

2 実施概要

(1) 対象者

市民等（市内在住・在勤・在学の人、市内事業者、城陽市税納税義務者）

(2) 期間

令和4年12月8日（木）～令和5年1月10日（火）

(3) 閲覧場所

行政情報資料コーナー（※）、市ホームページ、福祉課

※行政情報資料コーナーの内訳

市役所本庁舎、陽寿苑、陽和苑、北部コミセン、南部コミセン、今池コミセン、東部コミセン、青谷コミセン、図書館、保健センター

(4) 意見提出方法

上記閲覧場所に配架、または掲載している所定の様式等に意見を記入いただき、実施期間中に福祉課まで持参、郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で提出

3 実施結果

意見提出数

3件

4 意見に対する市の考え方

別紙のとおり

第2期城陽市自殺対策計画（原案）についてのご意見及び市の考え方

No.	意見要旨	意見に対する考え方
1	<p>自殺予防週間や強化月間だけでなく、こまめに取り組む必要がある。例えば、ゲートキーパー研修や福祉関係の講習等を通年計画として行い、市民の理解の促進を図り、また、相談にのれる人を増やすこと。相談窓口を増設し、いつでも相談にのれる体制を構築してはどうか。市民の中にそのような対応ができる人材はあると思う。</p>	<p>本市では毎年度、市職員及び民生委員・児童委員を対象としたゲートキーパー研修を実施し、悩んでいる方の相談にのれる人員の育成・拡大に努めております。また、グリーンコール、トワイライトコール及びこころの体温計等の事業を実施する他、京都府等が実施する各種相談窓口の周知を行い、相談可能な体制の構築に努めているところです。</p> <p>なお、いただいたご意見を踏まえ、以下のように修正し、計画（案）へ反映します。</p> <p>⇒修正（計画原案 P21） 第2章 自殺の現状と課題 6 城陽市における自殺対策の課題 （2）自殺の背景となる要因の軽減のための取組の推進に「<u>いつでも</u>」を追記。</p>
2	<p>計画を読む限り、色々な施策に取り組まれていると思うが、十分な周知がなされていないように思う。もっと取組内容について、発信を強化してはどうか。</p>	<p>本市におきましては、自殺対策として、グリーンコール、トワイライトコール及びこころの体温計等の事業を実施しているところであります。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、更なる周知に努めてまいります。</p>
3	<p>自殺に関して、私は電車通勤をしているが、最近特に電車への飛び込み自殺が多く、乗っている電車がとまることや、電車が遅れて帰宅が遅くなるといった事態に遭遇する。こういった状況について、自殺対策に取り組まれている行政におかれては、どう受け止めているのか。</p>	<p>本市としましても、電車への飛び込み自殺が多いという状況は把握しています。こういった自殺者が一人でも少なくなるよう、本計画における取組を進めてまいります。</p>